

令和2年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会 議事要旨

日 時：令和2年12月25日（金） 15：00～16：20

場 所：Zoom を利用した Web 開催

構 成 員：9名

出 席 者：〈Zoom〉5名

照屋淳（北部地区医師会病院）、又吉賢弘（沖縄県友声会）、朝倉義崇（中部病院）、
岸本信三（宮古病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）

欠 席：4名

宮里浩（那覇市立病院）、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）、松茂良力
（八重山病院）、野村寛徳（琉球大学病院第一外科）

陪 席 者：1名

野底尚子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和2年度 第2回沖縄県診療連携協議会 医療部会議事要旨について

増田副部長より、資料1に基づき令和2年度第2回議事要旨について説明があった。確認をしていただき、疑義があれば事務局まで連絡するよう説明があった。

2. がんゲノム医療外来における他院からの紹介について

増田副部長より、資料2と3に基づきがんゲノム医療外来における他院からの紹介について説明があった。また、C-CAT や検査会社のオーダーサイトに登録の際に正確な入力が必要となるので、紹介の際に提出していただく診療情報提供書には正式な病理学的診断名の記載をお願いしたいと要請があった。また、資料2-5の薬物療法詳細一覧と有害事象一覧について、薬剤名は必ず実際に使用した商品名及び規格で記入するよう要請があった。

3. その他

特になし。

【協議事項】

1. 医療部会のロジックモデルについて

増田副部長より、資料4に基づき医療部会のロジックモデルについて説明があった。DPC データと院内がん登録のデータをリンケージし、さらにカルテレビューまで行くと実状に近いデータを取ることができ、クオリティインディケーター（診療の質指標）を測定できると説明があった。朝倉委員より QI に関して、中部病院は執行部では共有できているが、各診療科まではフィードバックできていないため、今後は各診療科でも共有するようにしたいと説明があった。また、増田副部長より、今年の3月までには琉球大学病

院の QI の冊子を作成する予定でいて、各病院に配れるように調整中だと説明があった。また、医療部会のロジックモデルについての検討会を別途設けたいと説明があった。又吉委員より沖縄県のがん経験者でどれだけの人数が生存しているかのデータはあるかと質問があり、増田副部長より、直接のデータはないが闘病中のがん患者は推定 2 万～2 万 5 千人いる（年間 8,500 人～9,500 人ががんと診断され、その 2.5 倍の人が闘病中と推測される）と説明があった。

2. 次回の開催日程について

照屋副部長より、議事次第のとおり説明があった。

3. その他

岸本委員より、市民向けのがんチェックシートを作成してほしいと要望があり、増田副部長より、現在そのようなチェックシートはないので、ベンチマーク部会で提案をすると回答があった。